

東北 地協

NAGOMI

発行責任者
山下 仁一
編集担当
教育情宣委員
発行所
東洋ゴム工業労働組合東北支部

議長挨拶

東北地区協議会 議長 鈴木 剛

【イノアック労働組合東北地区本部 地区本部長】
「ご安全に！」

今期18期も前半期を迎える所、謹んで挨拶を申し上げます。

ゴム連合東北地協に集う多くの組合員とご家族の皆様におかれましては、労働運動への理解をいただき協力を得ている事、感謝申し上げます。

国内においては、長引く新型コロナウイルスの影響に加え、急激な物価高が私たちの生活に影響を及ぼす中、更にはウクライナの情勢長期化による原油や穀物の価格上昇に拍車がかかり、今後更に企業の設備投資、生活者の消費への転換が進まなくなることが懸念されます。先行きの不透明感が強まる中、企業活動の停滞や消費マインドの低下が進まぬよう、早急な経済対策が求められています。

さて、労働組合は新たなステージに入っているとされており、組織率の低下・役員のなり手不足、役員の思いやノウハウの伝承・組合活動自体の目的化など、課題を乗り越えていく一方で現在進行形である「ウイズコロナ」時代の変化や、そこで生まれる新たな価値観を考え抜く課題や問題に対して行動することが重要であり、注意が必要な点と想っています。

安心して働き、くらし続ける為に雇用の質と安定こそが、経済の安定と成長に直結し働く人の安心を生みます。東北地協は現下の経済上昇を鑑み、春とりによる賃金の底上げや格差の是正、生活を守るための政策実現を繰り返し行い、環境を整備して参ることに関わる皆で自分の持てる力を最大限に発揮し、それぞれの役割にあたる組織間の調和と同時に、互いを尊敬しあう運動を目指して行きたいと思えます。

今後、皆さまにとってより良くなることを心よりお祈り申し上げます。

第18期 合同研修会

2月3日金曜日、仙台市仙都会館にて、第18期合同研修会が開催されました。

今回の研修会はコロナの影響もあり、3年振りの集合開催となり、地協役員メンバーに加え、青年女性委員、単組役員の総勢21名参加いただきました。

第一部

「2023春とり情勢と」

ゴム連合方針について

一部ではゴム連合本部より富田中央執行委員をお迎えして「2023春とり情勢とゴム連合方針」についてご講義いただきました。

連合方針である「底上げ」「底支え」「格差是正」のとりくみ強化を促す観点とすべての働く人の生活を持続的に維持・向上させる転換点とするマクロの観点から、賃上げ相当を3%程度、定期昇給相当分を含む賃上げを5%とする考えの中で、ゴム連合では不確実性が与える自社への影響を注視し、置かれた環境を正しく理解した上ですべての労働者の労働条件改善を力強く推し進め、生産性向上による企業の持続的な発展の為労使で意思疎通を図りながら取り組んでいくことを共有しました。

その後、各単組より春とり要求案の動向について報告いただき、満額回答に向けて一丸となつて組合員さんの想いを会社側へ届けることを確認しました。

第二部

「メンタルヘルス対策について」

横浜ゴム労働組合事例紹介

二部ではゴム連合安全衛生対策部で横浜ゴム労組出身の大木様をお迎えし、単組取り組み事例紹介として「メンタルヘルス対策について」横浜ゴムさんの会社と組合で取り組んでいる内容について紹介いただきました。

労使では安全衛生委員会でもメンタルヘルス疾患者の状況を把握を行い、復職支援プログラムを導入してフォローされていたり、コンプライアンスの視点からも意識醸成をされていきました。また、アプリを導入した新たな取り組みにも挑戦されていました。

労組としては組合役員としての教育を行い、早期発見・未然防止のとりくみを充実させて相談窓口の強化をおこなっていました。

以上を参考にし、グループに分かれて各単組間で情報交換し、「メンタルヘルスにおける組合のあるべき姿」について発表しました。各単組でも様々な取り組みはされていますが、改めて早期発見・未然防止の重要性を共有し、それに向けた組合員一人ひとりへの意識醸成や組合役員の教育強化、相談しやすい環境づくりが必要と各グループともに発表されました。引き続き情報交換を通じて各自単組の活動強化につなげて参りましょう。



ゴム連合方針説明



単組事例紹介



分散会による意見交換